A.O.G -Agent　Of　God- ～代行者は荒ぶる旋律を奏でる～

反省猫

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト
http://pdfnovels.net/

注意事項

このＰＤＦファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にＰＤＦ化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのＰＤＦファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
Ａ．Ｏ．Ｇ　－Ａｇｅｎｔ　Ｏｆ　Ｇｏｄ－　～代行者は荒ぶる旋律を奏でる～

【Ｎコード】
Ｎ７１９２Ｚ

【作者名】
反省猫

【あらすじ】
今度の主人公はいきなり死亡！？　そんなある意味ついてない主人公が今回は音楽をテーマに軽音部の仲間達やいろいろな作品とクロスオーバーする物語。いざ、開演です！
※この作品はけいおん！の二次創作小説です。
オリ主最強・チート・バグ・原作ブレイク・キャラ崩壊苦手な方にはおすすめできません。
それでもいいよという方は、暇つぶしにどうぞ～

第０話　『邂逅そしていきなり死亡！？』（前書き）

という事で今回は、けいおん！など色々な作品とクロスします。
そしてまた新たな主人公が物語の渦中へと身を投げます。
それでは新たな話の幕開けです！　どうぞ～

第0話　『邂逅そしていきなり死亡！？』

？？？
『問おう、貴方が私のマスターか？』

桃李
「……な、な」

俺は、某聖杯戦争でお馴染みのある場面に直面しているのだが……

？？？
『ぅん？　聞こえなかったか？　問おう、貴方が私のマスターか？』

桃李
「なんで……なんで……」

本来なら【騎士王】が登場する場面で……

桃李
「なんで、喋るギターなんだよぉぉぉぉ！！！」

俺の目の前で問いかけている存在……【騎士王】ではなく……喋るエレキギターだった。

遡ること、数十分前――――

～回想～

俺の名前は、山彦（やまびこ）　桃李（とうり）。

どこにでもいる高校生だ。

学校からの帰り道の途中で、見慣れない神社を発見した俺は、

その神社の鳥居を潜ると、誰かの声が聞こえた。

???

『我(わが)、マスターは何処に……』

辺りを見回しても誰もおらず、その声が気になった俺は、

声のする方へ行くと、神社の戸が開いているに気づき、中の様子を

戸の隙間から除くと、

中には誰もおらず、ある御神体が祀られていた。

俺は意を決して神社の戸の内側に入ると、戸が勝手に締まり、

俺の目の前の御神体から凄まじい光が溢れ出し、俺は目を瞑った。

それから光が収まったのを薄目で確認して、目を開くと

御神体が無くなり、その御神体があった場所に真っ青なエレキギター

が、

代わりに置かれていた。

俺が、そのギターに近づくといきなり先ほどの声が聞こえてきた。

？？？
『この感じは……そうか、問おう、貴方が私の奏者（マスター）か？』
桃李
「な……、な」
？？？
『ぅん？　聞こえなかったか？　問おう、貴方が私のマスターか？』
桃李
「なんで……　なんで……　喋るギターなんだよぉぉぉぉ！！！」
俺の魂の叫びが神社内に響き渡ったのだった。
～回想終了～
俺の魂の叫びが響き終わった後、喋るエレキギターが申し訳なさそうに
ギター
『すまない、やはり甲冑を着た女性のほうがよかったか？』
なんで、ギターがなんで知ってるんだという疑問よりも先に、
桃李
「というか、ギターが喋った……」
ギターが喋った事に俺は驚いていた。
ギター

『我が名は、毘沙門。長い年月をかけて貴方をお待ちしておりました』

それを聞いて、俺は、訝しげな眼差しでギターを見て、

桃李
「俺を？」

毘沙門と名乗ったギターは、頷くように弦を弾かせ音を出し、

毘沙門
『はい、私の声は、私のマスターだけが聞く事ができます。
なので、それを聞いた貴方が私のマスターなのは間違いないです』

桃李
「そう言われてもな～、俺って普通のどこにでもいる高校生なんだけど」

毘沙門
『そうは言いますが、貴方がマスターという証拠がもう一つあります！』

桃李
「もう一つ？」

毘沙門
『はい、それは貴方が奏力の力を持っている事です』

それを聞いて、桃李は頭に？を浮かべた表情で

桃李
「奏力？」

毘沙門
『はい、奏力とは、悪しきものを清浄なるものへと浄化する音を奏でる力です』

桃李
「それが俺にもあると？」

毘沙門
『はい、今はまだ眠っておられますが間違いなく貴方の中にそれはあります』

そうは言われても桃李は半信半疑だったが、

毘沙門
『むっ！　何かがこちらに近づいてきます』

桃李
「何かって何が？」

桃李がそう言った瞬間、凄まじい音を立てて、神社の上空から何かが落ちてきた。

ズドオォォォォォォン！！！

辺りはホコリなどが舞い、視界が見えなくなる。

桃李

「けほっ、けほっ、い、一体何が？」

ヒュルーーン、ズシャァ……！

桃李
「――――え？」

一瞬の出来事に桃李が自分の身体を確認すると、
触手のようなものが、桃李の心臓を貫いていた。

桃李
「ゴフッ！！」

バタン！　ズシャ……

毘沙門
『マスター！！』

桃李がその場に倒れ、貫かれた心臓の部分から大量の血が流れ出し、
辺りは血の海になった。

桃李
「……俺…は、一体……」

桃李が触手が出てきた方向を見るとそこには、異形の怪物が立っていた。

全身、紫色で頭の部分がイソギンチャク、体はだらしなく太った人間の体に

指全部が触手になっている言わば触手人間と言ったほうがいいような異形な怪物。

???

「ヒャッヒャッヒャ！　最後の奏者を始末できたぜ、これでこのセカイが辿る道は、
滅びしかなくなった。さて次は、どこのセカイに行こうか～、
そうだ、あのセカイに行くとしよう『けいおん！』のセカイに！」

そう言うと毘沙門をその場にへし折り、怪物はその場から忽然と消えていった。

桃李
「……ち、ちくしょう……俺……ここで……死ぬのか……よ」

そう呟いて、桃李は死んだ。

しかし、死んだ桃李とへし折られ壊された毘沙門を光が包み込み、
その場から
1人と1台は、消えたのだった。

ｔｏ　ｂｅ　ｃｏｎｔｉｎｕｅｄ……

第０話　『邂逅そしていきなり死亡！？』（後書き）

作者・桃李「ということで、作者と桃李のあとトーーーーーク！！」

作者「という事で、始まりました～『Ａ．Ｏ．Ｇ　－Ａｇｅｎｔ Ｏｆ　Ｇｏｄ－　～代行者は荒ぶる旋律を奏でる～』ですが」

桃李「ちょっと待て、なんでいきなり俺死んでんの！？」

作者「それはね、君にある能力を付加する為だよ」

桃李「なるほど……って納得できるか！！！」

作者「まぁまぁ、落ち着いて～」

桃李「落ち着けるかっつーの！」

作者「まぁ、怒っている主人公を横に置いといて～」

桃李「置いとくなよ！！」

作者「主人公の簡単プロフィール～のコ～ナ～、という事で、まずは主人公の『山彦　桃李』の簡単なプロフィールを」

～～プロフィール？～～

名　前：山彦（やまびこ）　桃李（とうり）

年　齢：１７歳

趣　味：漫画　ゲーム　ギター

好きな物：カレー

嫌いな物：外道　グリーンピース

見た目：黒髪で肩まで伸びている髪を後ろでゴムを使い束ねている。
　目は切れ長。顔はイケメンの部類に入る（上の中）

ＣＶイメージ：宮野　真守　（ＤＯＧ　ＤＡＹＳのシンク・イズミ役）

あるセカイの高校に通う１７歳の青年。性格は、面倒見が良く、いろんな人に好かれる。恋愛方面は普通。鈍くもないし鋭くもない。

中学のときからギターをやっており、結構な腕前。

両親は、海外に出張中。

作者「プロフィール完全版は今度書きます。毘沙門のプロフィールもその時に。
　ということで、次回予告よろしく～」

桃李「死んだ俺と壊された毘沙門はとある人物により復活するが、その人物から
　驚きべき提案をされることになる次回、第１話　『代行者は奏でし者』」

作者「という事で、次回またお会いしましょう～」

作者・桃李

「次回までさよなら～」

ＰＤＦ小説ネット発足にあたって

　ＰＤＦ小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は２００７年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にＰＤＦ形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのＰＤＦ小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能（たんのう）してください。

この小説の詳細については以下のＵＲＬをご覧ください。
http://ncode.syosetu.com/n7192z/

A.O.G -Agent　Of　God- ～代行者は荒ぶる旋律を奏でる～

2011年12月23日23時51分発行